
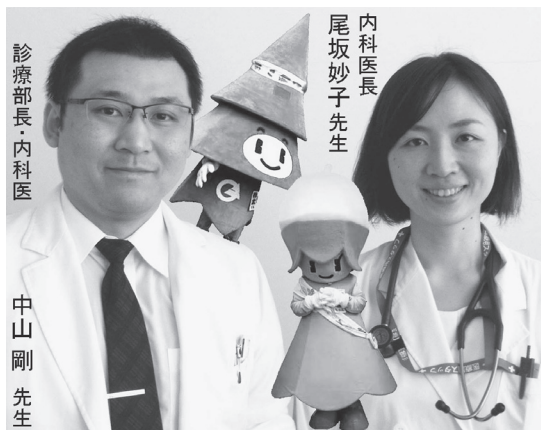


新任医師のご紹介

 秋藤洋一院長、診療部長・内科医の中山剛、内科医長の尾坂妙子先生、歯科科長の久保克行先生が着任されました。


尾坂先生は、智頭病院が二度目で、前回「ハイカラさん」で優勝歴があります。お嬢様と野草を探しての散歩が趣味とのことで、出会いがあるかも…。




診療部長 内科医

中山剛 先生


内科医長
尾坂妙子先生

 中山先生は、ラグビー・サッカー・空手など、熊本県出身のスポーツマンです。一方、趣味は「お城ピクニック」だど！智頭の第一印象は「散歩がしたく

なる」と。トレッキングなどにも参加して欲しいですね。

 「お祭りやイベントに親子で参加したい」との尾坂先生は、「街並み・伝統や新しい町づくりが共存する魅力的な町」と、智頭町を評価してられます。

医療は「お話・考えを共有しながら、一緒に解決していく姿勢で臨みたい」とのことです。

 中山先生は①病院の医師（外来・入院）、②町の医師（公衆衛生・訪問診療・介護連携）、③後世のための医師（学会発表・執筆）の三つの柱への取り組みを、全力で挑戦したいと話しておられます。頼もしいよ！


 岡山大学歯学部大学院卒の久保克行先生は、香川県出身で、旅行が趣味、特技はスノーボード！鳥取市立病院に勤務され、濱崎前院長との出会いから智頭の「訪問歯科」を担われます。





久保克行先生



「のどか・川の水がきれい・交通の要所」と智頭町の印象を話され、「地域医療の充実に努めて行きます」ですって。嬉しいナ。


訪問歯科のご紹介



 訪問歯科って、馴染みがないのですが…。

 はい。「訪問診療・訪問看護」は、よくご承知ですよ。

 病院に通院が困難な人へ、ご家庭など生活の場に、医師や看護師チームが訪問し、医療・看護をするのよ。

 その通りで、訪問歯科もかかりつけ歯科医などに通院が困難な人の生活を支えます。智頭病院の歯科は、訪問が主体です。
 かかりつけ歯科がある人は対象外ですね。



 はい。かかりつけの歯科医が対応困難な訪問歯科や、かかりつけのない人への支援です。院内での通常の歯科外来は、木曜日の午後のみとしています。



 訪問歯科の対象は？
 う歯（虫歯）や歯槽膿漏など口の中の問題、それらは食べにくい、美味しく食べられないなどの困り感になります。さらに、食べるとおこせる、誤嚥し、肺炎で入院したなどの人は、重

要になりますが、口腔内の汚染を除くことや、口腔内のリハビリテーション、つまり、咬む・咀嚼する、飲み込む機能を高める具体的な支援もします。


ご自宅などで、レントゲン写真を撮るなどできますよ。

智頭病院に来ていただくことが、例外的に、あり得ます。

 費用はどうなるの？
 訪問診療などと同様に、生活支援の観点や病状等を基に、「介護保険」と「医療保険」の適用・使い分けになります。

 具体的な利用方法は？
 予約制で、専用電話があり、歯科専門の事務職員や歯科衛生士と私のチームで対応します。

利用されたいご家族が直接電話されても良いですが、ケアマネージャーや、智頭病院の訪問診療・訪問看護などを通じて、困り感や願いをお話ください。

専用車で、智頭町内に出かけて診療をするので、「走る歯科医」の愛称もありますよ。(笑)
 詳しくは、作成したパンフレット等をご覧くださいね。

幸せは見つめ愛育み合い

小児科 大谷恭一

智頭中3年生への特別授業で、生徒の感想文にあった「プラス的な言葉」を、丁寧に確認したいのですが…。

はい。では、授業で用いている図を見てください。

体の健康

Physical health

免疫能は高まる。



体調が良いですね！
自律神経系の機能が良いですね！

- | | |
|-----------|--------|
| ニコニコ・ユツタリ | 過食をしない |
| 笑顔・平穩 | 適正塩分摂取 |
| 感謝・受容 | 偏食をしない |
| 自他を祝福 | 禁煙・節酒 |

生活習慣病を軽減させる因子です。

責任を有して言動し始める思春期から、老年期まで、生涯を通じて大切にし、高め続けて欲しいのが、「体調・自律神経系の機能が良い」に係る図示した要素です。

かつ、小児の育ちを支援する観点で、家族・関係者が大切にしたい内容です。

赤ちゃんや乳幼児、学童期の脳の育ちは環境要因がとても重要だから…。

そう「幸せは見つめ愛育み合い」のシリーズ標題の要ともなるのよネ。親・家族が「ニコニコ・ユツタリ・笑顔・平穩・感謝・受容・自他を祝福」の心・関係性を育んでいると、赤ちゃんや乳幼児も「ニコニコ・ユツタリ…」などで大脳が育つのだわ！

その通りです。昨今「人生百年」が現実的になつている日本では、いわゆる寝たきりの長命でなく、健康寿命も現実的な目標になります。

図の各要素は「健康長命」の要にもなるのです。

となれば、生活習慣病にならない生活や、なつたとしても悪化させずに高齢に至ることが大切なのですね。過食をしない、適正塩分摂取などの食生活も大切！

禁煙もますます重要になるわネ。副流煙を避ける観点

も大切だわ。家族や屋内で働く人たちの副流煙の害を避ける願いを含めて、非喫煙・非副流煙の文化が育まれ、実践されるのも「健康長命」の観点から重要なのね。次世代に『健康文化』を贈りたいナ。

そう、過去にとらわれないうで、今・今からを大切に、あきらめず、勇気を出して挑戦して欲しいと願います。

自他を祝福とは？

自分自身を構成する細胞が各々の役割を担い、今、私たちは生きている。これって、祝福に値するのよ。交わり・出会いのある他の人もそうだし、育ち、支え合つて暮らしているのは、輝かしく、とても素晴らしいことなのよ。

そうだね。今、命があつて日々生活できている事実の素晴らしさに気づき感謝する姿勢があると嬉しいな。その心で子育てをすると、家族のきずなが深まり、智頭の地域力を高めることにもなる。

その通りです。対比的に次の図も参照し『健康文化』

を高めましょう。一昨年6月号でも紹介した図ですが、今回は赤ちゃんや乳幼児が育つ観点からも考えましょう。

体の健康

Physical health

免疫能は低下する。



体調はいかがですか？
自律神経系の機能はいかがですか？

- | | |
|-----------|---------|
| イライラ・カリカリ | 肥満・過食 |
| クヨクヨ・ハラハラ | 塩分過剰・偏食 |
| 不平・不満・悲しみ | 喫煙・飲酒過多 |
| 恐れ・緊張・怒り | 脱水状態 |

生活習慣病を悪化させる因子です。

免疫能にも係わる…。はい。感染症における抵抗力や、がん(癌)における癌免疫の観点です。

癌免疫？
癌細胞は、自分自身の細胞の変異が発端です。自己免疫が働くと、これを自身で処理します。が、機能が劣ると発症し易くなるのです。ゆえに、日々の実践が大切です。